

令和3年(2021年)度 産学官・地域連携活動報告書

連携先名称：JA ふくしま未来

協定締結日：2018年7月9日

活動状況：継続中

連携先窓口： 営農経済担当部 部長 高橋 弘 様

活動資金：大学予算

担当教員(所属)：渋谷往男、半杭真一(国際バイオビジネス学科)

大島宏行(農芸化学科)

活動体制(単位)：大学

関連教員(所属)：上原巖、山崎晃司(森林総合科学科)

中島亨(生産環境工学科)、足達太郎(国際農業開発学科)

活動目的：東日本大震災からの農業復興

1. まちづくり及び人づくりに関すること

- ・福島イノベーションコースト構想「復興知」事業の一環として、市内で「経営セミナー」を開催。農大教員が講師を務める。
- ・福島イノベーションコースト構想「復興知」事業の一環として、「6次産業化講習会」を開催。農大教員が講師を務める。

2. 自然、環境、産業及び地域振興に関すること

- ・相馬市からの要請で2020年11月に相馬市内にオープンした道の駅である「浜の駅 松川浦」を対象に半杭准教授がマーケティング調査を実施し市に報告。
- ・福島イノベーションコースト構想「復興知」事業の一環として、市内で2022年1月9日に「活動報告会」を開催。農大教員7名が1年間の活動報告を実施。農協関係者も出席した。

3. 教育・研究・文化の発展に関すること

- ・農学サマースクール・フォローアップセミナーの開催

実施時期：2021年10月16-20日(オンライン)

参加人数：教員等のべ8名、農大学生1名、地元高校生等のべ6名

・令和3年度東日本支援プロジェクト活動報告会

実施時期：2022年1月9日（日）

参加人数：現地社会人93名（相馬市長を含む）、教員等11名（江口学長を含む）、学生38名

この報告会は2021年度で11回目であり、毎年地域連携先と本学のトップ士が顔を合わせて、報告する機会となっている。

4. 就農及び就職支援に関すること

・特になし。

5. 前4号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するために必要な分野に関すること

・公益財団法人福島イノベーションコースト構想推進機構の「学術研究活動支援事業（「復興知」事業）」の申請にあたって、協力をいただいた。

活動内容・成果：

- ・10年間にわたり継続して震災からの農業復興支援を行い、現地での農業が復興すると共に、新たな時代に即した経営体制を構築しつつある。
- ・高校生や社会人向けの人材育成プログラムを展開しており、成果を上げている。特徴的な例として、2019、2020年度に開催した高校生向けサマースクールに参加者が2年続けて本学に入学し、次世代の地域づくりのリーダーとして期待されている。

課題・改善点：

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため夏休みを利用した集荷支援活動が出来なかった。



東京農大
東日本支援プロジェクト
復興から地域創生への農林業支援プロジェクト

活動報告会

会場：JNふくしま未来相馬中村公園センター

1月9日(日) 13:00

入場無料

東京農大の学生による
相馬市産大豆を用いた商品アイデアコンテスト
(※) 発表順による発表を行います。

東京農大の教員による
研究・活動の報告

参加申し込みはプロジェクト事務局またはQRコードから

東京農大「復興から地域創生への農林業支援プロジェクト」事務局 | TEL 030-8381-6510 | E some-pp@nodai.ac.jp